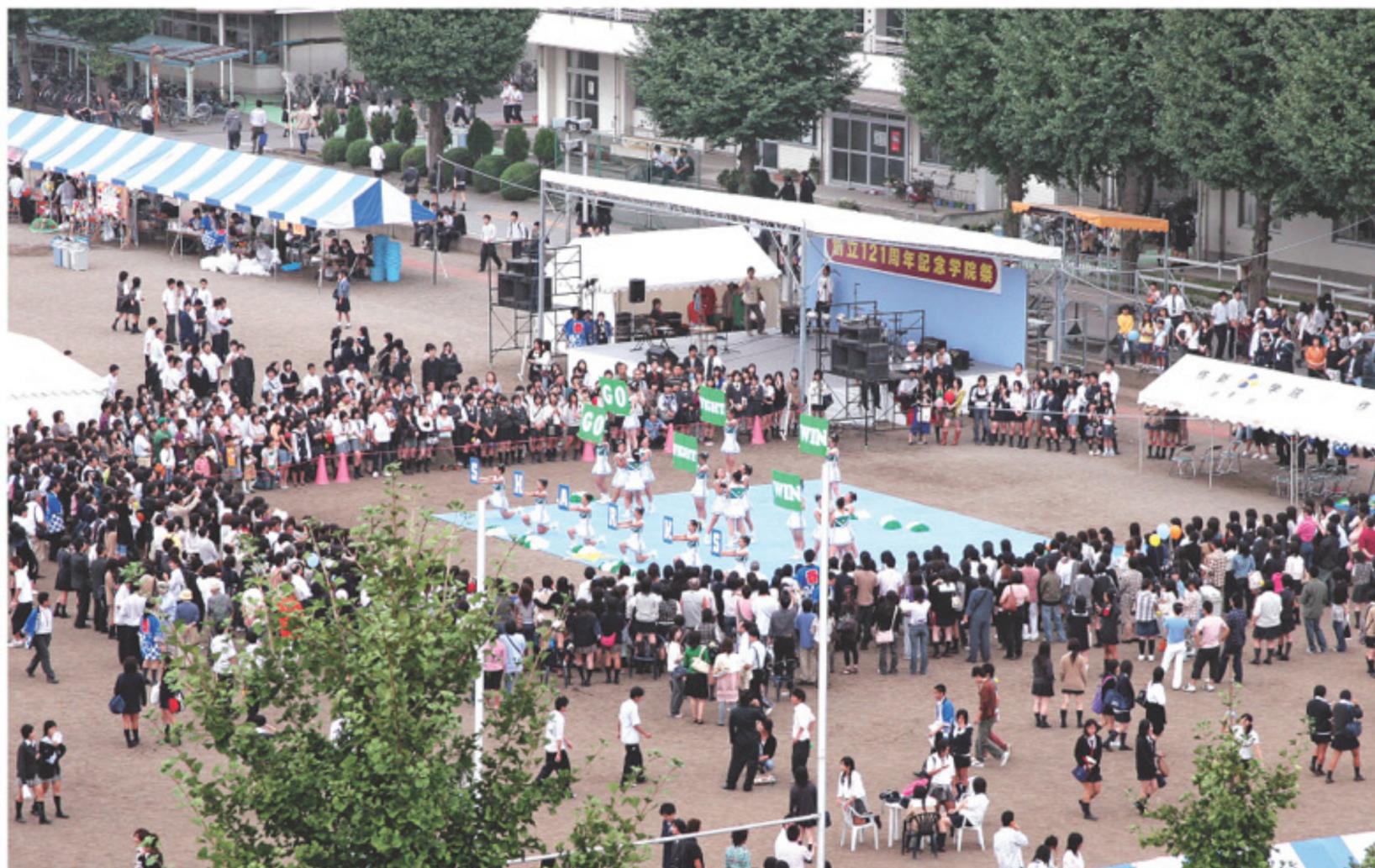


作新学院高等学校同窓会報

発行 作新学院同窓会 〒321-0027 宇都宮市塙田1-3-27 船田教育会館内 TEL028-621-9083 FAX621-3941



高等学校 平成18年文化祭にて (平成18年9月30日～10月1日)



同窓会の皆さんへ

同窓会の皆様いかがお過ごしですか 会長 大淵 皓之
(高10回卒)

私は平成18年度より同窓会会長を仰せつかりました大淵皓之です。

皆様には日頃より何かとお力添えいただき、また同窓会の運営にあたりましては、様々なご協力を賜り誠にありがとうございます。

私が同窓会の活動に参加してから約40年になります。当時はまだ高等部同窓会と下野中学校同窓会の2つに分かれており、私達高等部同窓会は事務所もなく、本町の元郵便局の南側に小さな連絡所がありました。その後ワシントンホテルの斜向い中央ビルの2階の一室を借り、机、電話、応接セット等を入れて事務所ができました。故荒井源一郎会長を中心に、会員相互の情報交換、献血運動や学院行事に積極的な協力など活発な活動を行ってまいりました。その後故船田譲先生の仲介で、高等部同窓会と下野中学同窓会が合併し、今

日の同窓会になって約30余年になります。

現在同窓会は、総務企画部、組織財政部、文化厚生部、広報部の4部を中心に魅力ある同窓会にすべく活動を行っております。今年作新学院は創立122周年を迎え、一校一家の建学のもと着実に成長を続けており、同窓会も学院と共に発展を遂げて現在会員数10万余人を数える規模になりました。

本年は組織強化をメインテーマに運動部、文化部のOB会、OG会、各支部、職域、学年会、クラス会などの開催を支援しながら、会員相互の親睦と交流の輪を広げ、社会活動の向上に努め、若い同窓生にも積極的に同窓会活動に参加していただき、組織の強化をはかって行きたいと思っております。

今後の皆様の益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



教育問題の先頭に立って

作新学院 院長 船田 元

母校作新学院はおかげさまで、本年度創立121周年を無事に迎えました。昨年度は120周年という節目の年でしたので、同窓会の総力を結集していただき、東武宇都宮デパートにて「作新展」を開催しました。作新学院の戦前戦後を飾った様々な出品物が総結集して、さながら「作新博物館」が出現した感がありました。今年はそれほど大きくはありませんが、作新文化祭の当日、校庭の一角で同窓会の模擬店を開いていただき、多くのお客様を招いていただきました。

さて昨今は、教育問題が国民の間でクローズアップされています。小学生のいじめを原因とした自殺が社会問題化したり、高校社会科を中心とした必修科目の未履修問題が明らかになっています。本学院でも進学クラスを中心に、一部未履修が判明し、大いに反省しています。補習授業をきちんと実施していますが、来年度以降のカリキュラム編成も未履修の起こらないように、しっかりと対応いたします。

さらに国会では教育基本法が60年ぶりに改正されようとしています。「愛国心」のところばかりが注目されていますが、実はそればかりでなく、現行法にはなかった「私学教育の重要性」や「生涯学習の振興」、さらにはいじめ問題とも関係しますが、「学校・地域社会・家庭の連携の大切さ」を付け加えることとしました。

考えてみますと、教育問題というのは誰もが自らの経験として語る事が出来、自分の子どもを通じてかかわることが出来ます。ですから誰でも「教育評論家」になることが出来るのです。ここに教育者は教育のプロとして、大変難しい立場に立たされます。しかしプロだからこそその重圧をはね退けるだけのパワーを持つことが要求されます。

一の沢キャンパス、とりわけ高等学校では3つの目標を掲げて、教職員が一丸となって頑張

っています。第1に「栃木県内で最もしつけの厳しい高校を目指そう」ということです。高校生ですから今更しつけでもないだろうと思われませんが、やはり現代の子どもたちは礼儀や常識に欠けています。周囲に迷惑を掛けないというマインドも希薄になってしまいました。ですから私たちは、もう一度原点に立ち返って教育をしなければなりません。

第2は「子どもたちに多様な教育の機会を提供し続けよう」ということです。作新の教育の特徴は今も昔も「間口が広い」ということと、「懐が深い」ということです。子どもたちの個性や進路に従って、入学時点では15のコース、卒業時点では実に32のコースに細分化されます。どこかには必ず自分にあったコースがあるはずで、生徒一人ひとりの自己実現に向けて、真剣にフォローアップできる体制を今後とも提供していくつもりです。

第3は、多彩な部活動に参加して、それぞれの夢の実現をサポートすることです。戦後の硬式野球部の大活躍は多くの人々に記憶される場所ですが、最近は様々な運動関係の部活や文化系の部活も、全国レベルで活躍中です。ただ残念なことに、最近の生徒はなかなか部活に入らないのです。高校全体で加入率は4割ほどしかありません。部活動の効用は枚挙にいとまなく、かけがえのない友人を獲得したり、忍耐力を養ったり、協力し合うことの尊さを学んだりすることが出来ます。加入率の向上に努めていきます。

私学教育にとりましても、現在進行中の少子化は大変な脅威です。しかし教職員はもとより、同窓会や保護者の皆様のご協力があれば、決して乗り越えられないハードルではありません。私たちは教育のプロとして全力を尽くします。どうぞ今後ともご指導をよろしくお願いいたします。



教育現場の声こそ問題解決への第一歩

作新学院 副院長 船田 恵

日頃は、作新学院の教育活動にご指導・ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

昨今は連日のごとく“いじめ”や児童虐待など、子どもたちを取り巻く痛ましい事件が報道され、「教育」に関する関心がかつてないほどに高まっています。

政府は『教育基本法』の改正や教育再生会議での検討を進めていますが、このことで現在の子どもたちの危機に対し、実効性ある解決がもたらされると期待している人は一体どれくらいいるのでしょうか。マスコミも様々な切り口で教育をテーマに取り上げてはいるものの、大半は抽象的で具体性に欠けた内容ばかりに終始しているのが実情です。

教育現場でいま実際に起きている事実をつぶさに検証し、何よりも子どもたちや保護者、教師など当事者の本音に謙虚に耳を傾け、地道な解決の道を模索する試みがどこでもなされておらず、状況は悪化の一途をたどっています。

作新学院は今こそ、同窓会の皆様方と連携を密にして、『誠実勤労・自学自習・一校一家』にこめられた礼節や思いやりの心を現代に取り戻すため、学校や家庭そして地域においてそれぞれ何ができるか、何をすべきかを探り、形にして行かねばならないと考えます。

今後ともよりいっそうのご指導ご鞭撻を、どうぞよろしくお願いいたします。

ごあいさつ

作新学院高等学校 校長 上野 隆 宏



同窓会員の皆様と新春を祝うことができ、心からお慶び申しあげます。私は昨年4月に校長をはからずも拝命し、9ヶ月が経過しました。無我夢中で勤務していますが、学院関係者や同窓会員の励ましに感謝しております。

校長就任にともない、いくつかの役職に就くことになりました。中でも高等学校体育連盟や高等学校野球連盟の仕事も直接担当することになりました。今年度は特に運動部の活躍がめざましく、学院代表として応援や表彰式等へ参加する機会があり、大変嬉しく喜ばしい体験をすることができました。

軟式野球部は県大会と北関東大会を順調に勝ち進み、2年連続21回目の全国大会に出場しました。しかも念願の日本一に輝き、6度目の全国制覇を成し遂げました。パワーリフティング部も全国大会で

団体・個人で優勝しました。またインターハイでは自転車競技部が団体・個人で優勝し、さらに柔道部が、栃木県で初めて女子の個人優勝に輝きました。それぞれ、全国大会優勝者は知事表彰の栄誉を受け優勝者を育てた指導者も同じく表彰されました。

このように優勝には届かなかったが、それに準じる活躍をしている運動部もかなりあります。また文化部でも吹奏楽部や演劇部が成果もあげています。これらの活躍の影響を受けて、進学や就職の状況も順調に推移し良い結果につながっています。まさに文武両道の作新学院といえるでしょう。

校長就任1年目ですが、教職員や生徒にめぐまれ職務をはたすべく努力していますが、同窓会の温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

平成18年度作新学院高等学校同窓会定時総会

同窓会 副会長 三村 松司
(商3回卒)

日本一の“マンモス同窓会”作新学院高等学校同窓会の平成18年度定時総会は昨年6月2日午後6時から、宇都宮市戸祭元町の「アピア」で、船田元院長（衆議院議員）、上野隆宏校長、英進部、総合進学部、情報科学部の各部長らを来賓に迎え、同窓会員約200人が参加して開催しました。

伴清副会長（高12回卒）の開会挨拶で幕を開け、高橋光男先生の指揮で作新学院歌「光みちたり」を出席者全員で斉唱後、物故者に対し黙祷を捧げました。そして、今年で会長職2期4年の任期満了となる柿沼宏同窓会長（高8回卒）が「昨年は作新学院創立120周年の節目の年でした。偉大な先輩達のおかげで躍進を続ける作新学院を、これからも学校と一体となって発展させることが、同窓会の強化にもつながることにもなるので、皆さんと共に頑張りましょう」などと挨拶。

続いて、地元支持者周りの合い間を縫って駆けつけた船田元院長が「同窓会員の皆様の力強いご協力のおかげで、現在の作新学院があります。今後とも、同窓会の皆様方が一致団結して、学院を支えて頂ければ大変ありがたい」などと挨拶をいただきました。



この後、小牧英夫さん（高33回卒）と、沼尾雅由さん（英7回卒）を議長団に選出し議事に入り、事務局および総務企画部会、組織財政部会、広報部会、文化厚生部会から提出された17年度の決算・会計報告、18年度の予算・事業計画などについて審議し、満場一致で承認されました。

また、今年度は役員改選期に当たるため、事前に役員選考委員会（鈴木郁夫選考委員長）を設置し、審議を重ねてきた経緯を鈴木委員長が報告、出席者全員から承認を得ました。この結果、新会長に大淵皓之前副会長（高10回卒）のほか、新副会長、新幹事長ら新執行部人事が決定。後日、各部会の正・副部長、部会員の人事も決まりました。

総会終了後、別室で懇親会を開催。推津弘之名誉会長の挨拶、和田藤吾前会長の乾杯の音頭のあと、各テーブルに用意されたお酒や料理をいただきながら、久しぶりに出会った先生や級友達の、和やかに歓談する弾んだ声が飛び交っていました。



有限会社 インテリアアール タカノ
高野 博子〔昭和26年卒〕
宇都宮市上戸祭3-3-2 ☎028-643-6231

Honda Cars 栃木中
<http://www.hondacars-tochiginaka.co.jp/>
専務取締役 高野 巖〔昭和29年卒〕
宇都宮市台新田1-1-37 ☎028-645-2621

元氣の里（特別養護老人ホームケア・ハウス）
事務長 大久保 好枝〔昭和39年卒〕
宇都宮市幕田町1456-1 ☎028-655-2611

宇賀神工業(株)（アルミサッシ販売）
代表取締役 宇賀神 真一〔昭和57年卒〕
関口 直哉〔昭和17年卒〕
鹿沼市千渡1605-88 ☎0289-64-4141

昨年度卒業生の進路状況

～ 国公立大学に62人合格 大学合格1,000人を超える 就職率100%達成 ～

平成17年度は、総合進学部から第1期生が卒業する記念の年となった。作新学院高等学校が英進部・総合進学部・情報科学部の3部体制となり、3部の卒業生の数も1,884人と近年では最も多く、その進路の内訳は、4年制大学に675人、短期大学に129人、専門学校(予備校を含む)に524人が進学し、就職・その他へ進んだ生徒は556人であった。

平成18年度大学入試は、いわゆる新課程入試の初年度であり、大学入試センター試験にリスニングが導入されるなど大きな変更があった。

本校の大学進学状況については、4年制大学への進学者数が前年を大幅に上回り、一段と進学志向が強まったといえる。生徒の進学意識を高めるために、各部門とも積極的に校外での「学習合宿」や大学の教職員を学校に招いての「進学相談会」を企画・実施した。その結果が進学実績に現れ、国公立大学の合格者は62人と前年に比べ19人の大幅増加となった。主な合格大学は、東北大学・北海道大学・筑波大学・東京外国語大学・東京藝術大学・横浜国立大学・首都大学東京などの国公立大学、また私立大学には早稲田大学・上智大学・東京理科大学・立教大学・明治大学・同志社大学などの難関大学を含め延べ1,000人を越える合格者を出すことが出来た。さらに、歯医系大学には、獨協医科大学の3人を含め40人以上の合格者を出すことが出来たことも特筆すべきことである。

専門学校の進学については、自動車整備・美容関係は前年と同様であったが、医療および福祉関係への希望者が多かったことが大きな特徴であった。看護・理学療法・作業療法・放射線など国家試験の厳しい分野に果敢に挑戦し、合格者も例年以上であった。また、ペットなど動物関係への進学希望者も癒しを求める世相を反映してか毎年増加している。さらに、例年県内への進学者が圧倒的に多かったが、昨年度は男子に限り県外への進学希望者が増加傾向に転じたのも特徴の

平成17年度 卒業生進路一覧

部・学科	進路	卒業生	4年制大学	延べ合格者	短期大学	専門学校 (含む予備校)	就職・自営
英進部		315	244	507	15	54	2
総合進学部	大学進学系列 (特進選抜コース)	157	106	218	14	27	10
	大学進学系列	483	236	237	74	121	52
	専修進学系列	298	25	25	7	151	115
	キャリア系列	204	6	6	0	34	164
	計	1142	373	486	95	333	341
情報科学部	流通経済科	123	17	17	4	40	62
	情報科	74	18	18	4	23	29
	電気科	67	3	3	0	14	50
	電子科	37	6	6	0	10	21
	美術デザイン科	64	12	12	1	23	28
	生活科学科	62	2	2	10	27	23
計	427	58	58	19	137	213	
合計		1884	675	1051	129	524	556

ひとつである。

一方、高校生の求人状況は全国で0.4%増、県内求人倍率は1.44倍で、本校への求人募集企業数も719社(昨年552社)と増加し、厚生労働省は「景気が回復している上、団塊世代の大量退職も控えた企業の採用意欲が高まった結果だろう」と分析している。

本校の就職状況については、1年次からニート・フリーターを出さないよう、外部講師による就職講話・公務員説明会・職業分野別ガイダンスや人事担当者による企業説明会、卒業生による職場説明会等を通じて、職業選択に関する知識・関心を持たせるよう指導を徹底した。

企業の提示する採用条件は、これまでの出欠状況・学力試験・適性検査・通勤方法等の他・コミュニケーション能力等も求められるようになってきた。生徒への「求人情報」は学内LANを利用してそれをより詳細にスピード化して配信され、コンピュータで閲覧できるようになっている。また、就職指導委員会は、県内の就職情報交換会や各種研修会に積極的に参加し、資料収集と状況分析、独自の求人開拓などを行った。その指導と早期対策が功を奏し、就職希望者434名全員が就職を果たしたことは喜ばしい限りである。

イマイズミ (宝石・貴金属)

<http://www.imaizumi-j.com/>

代表取締役 今泉 臣夫 [昭和37年卒]

宇都宮市仲町1-13 ☎028-622-3573

東野観光(株) (旅のことなら)

顧問 斎藤 操 [昭和37年卒]

宇都宮市平出工業団地19-8 ☎028-660-2441

伴印刷株式会社

<http://www.bannet.com/>

代表取締役 伴 清 [昭和35年卒]

常務取締役 伴 誠 [昭和62年卒]

宇都宮市栄町6-10 ☎028-622-8901

藤田勝春法律事務所

弁護士 藤田 勝春 [昭和35年卒]

宇都宮市清住3-1-14 ☎028-625-3266

新学科『自動車整備養成科』 生徒参加の常設店舗 宇都宮市街地にオープン

平成18年度に新設された自動車整備士養成科は、3級自動車整備士養成課程です。定員は60名で、3年生の10月に国家試験を受験できるカリキュラムが準備されています。合格すれば在学中に資格取得者となります。最新の設備を導入した国土交通省認定の第一種自動車整備士養成施設棟を2棟新築しました。第1実習棟は368㎡、第2実習棟が180㎡です。

21世紀の人類の課題は、環境問題とエネルギー問題であると言われています。とりわけ産業界を支えるモータリゼーションの問題は、環境・エネルギー問題を踏まえ相俟って現代科学の粋を集めて研究・開発されなければならないと考えます。

自動車には、駆動用モーターをはじめ多くの電気部品が搭載されています。近年では環境を考えたハイブリッド車が多く製造されるようになっており、今まで以上に電気・電子の分野に精通した整備士が必要とされています。幸い本校には、歴史と実績のある電気システム科・電子システム科が既存します。したがって、作新学院高等学校において時代に即した自動車整備士の育成が可能であると確信し新設に至りました。

自動車整備士養成科を発展すべく努力してまいりますので同窓会の皆様方には、ご声援をよろしくお願い申し上げます。



情報学科部によるチャレンジショップ開設
作新学院高等学校に新学科設立

20代社長を目指す チャレンジショップ『エッグステージSAKUSHIN』

オリオン通りの中ほど(堺屋商店2階)に『エッグステージ SAKUSHIN』をオープンしてから1年が経過しました。この『エッグステージ』の店名は生徒が名づけたもので、商店経営主の「たまご」という意味があります。

高等学校情報科学部のビジネスサイエンス科・コンピュータサイエンス科の生徒が中心となって販売・仕入・企画などを通して経営の勉強をしています。年間35時間の生徒参加で、学校設定教科「商店経営」の1単位を認定しています。

1. 高校生による空き店舗を利用した、宇都宮中心市街地の活性化・地域振興・町づくりへの参加
2. 高校生の実践を伴った授業の展開、および社会性・起業家意識の育成
3. 高校生による商店街イベント参加による、オリオン通り商店街集客力UP
4. 高校生による地域特産物などの販売による地域情報の提供

を目的とし、週1回休業(月曜日)、平日15:30~18:00、土曜・日曜12:00~17:00の営業時間で活動しています。

この様な高校生の取り組んでいるお店(チャレンジショップ)は、全国で約30余の高校で実施されていますが、常設の店舗で営業時間も毎日というのは数が少なく、また私立高校では稀であります。

商品の構成は、目玉商品の「たまご」の他に、黒羽刑務所の矯正作業で作られた作品やライフデザイン科や美術デザイン科の生徒の作製した商品と、地域特産物など多様です。中でも茨城県ひたちなか市からの「干



し芋」は昨年度から大人気です。

また、毎週水曜日には新鮮な野菜を農家から仕入・販売して、主婦の方やリピータの方も増えて地域の皆様から暖かい声援を受けています。その他にも、年賀ハガキの印刷・名刺・ネームシール作成なども格安で販売し好評を得ています。最近では、オリオン通りHPの発信と更新にも協力もさせていただいています。

(<http://www2.ucatv.ne.jp/~u-orion.snow/>)

これらの活動はテレビや新聞でたびたび報道され生徒の大きな励みになっています。開店や運営には、同窓会の皆様には大変お世話になりました。

更に生徒諸君が活躍できますようご支援のほど、切にお願い申し上げます。



作新学院 親交会
 会長 荒井 祥
 宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

(有)朋友塗装工業(建築・塗装・吹付工事)
 代表取締役 小野 朋之〔昭和61年卒〕
 宇都宮市峰3-31-30 TEL 028-634-7082
 FAX 028-639-7220

金田 商会
 代表取締役 金田 真 麒〔昭和35年卒〕
 宇都宮市松原1-5-5 ☎028-622-1846

荒川歯科クリニック
 理事長 荒川 敏 明〔昭和48年卒〕
 宇都宮市西川田本町4-1-3 ☎028-645-5072

合資会社 鱒淵材木店
 無限責任社員 鱒 淵 貢
 建築部 小牧 英夫〔昭和56年卒〕
 宇都宮市中央3-15-13 ☎028-633-3261
 E-mail: masu3261@snow.ucatv.ne.jp/

(株)大貫商店(紙一式)
 早乙女ヒロ子〔昭和21年卒〕
 宇都宮市二荒町9-3 ☎028-634-4131

作新学院高等学校 P・T・A
 会長 浅川 信 明
 宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

(有)泉 商販(全国有名味噌特約店)
 代表取締役 大木 利夫〔昭和35年卒〕
 宇都宮市御幸本町4736-34 ☎028-613-1818

書道部北澤君が全国高校総合文化祭で特別賞

JRC部の篠田さんは国際的な活躍

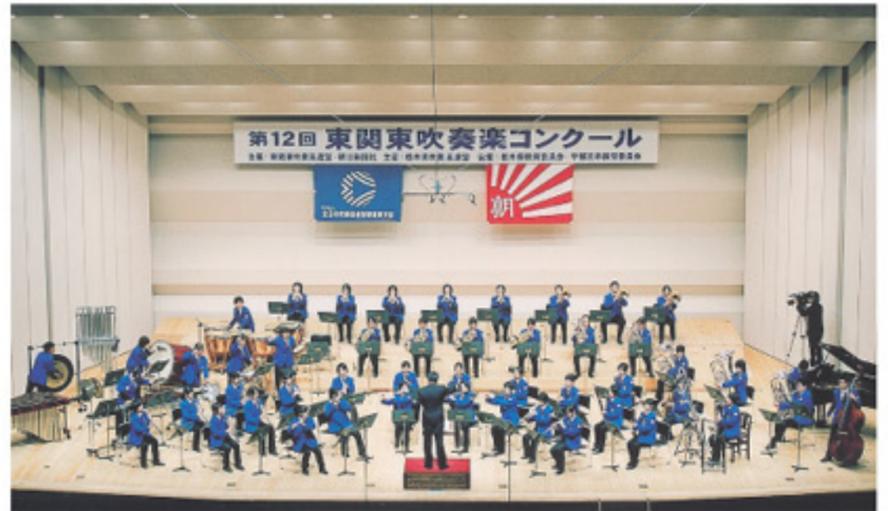
文化 部

書道部の北澤満が、京都府で開催された第30回全国高等学校総合文化祭において特別賞に輝いた。同大会には、栃木県から19部門に299人が参加。全国から集った才能あふれる高校生と競い合い、交流を深めた。また、毎日全国学生書写書道展における席書の部で、鈴木瞳と高山彩香が書写検会長賞（高校3年生の部で6位）に、北澤満が審査委員会賞（高校3年生の部で7位）に輝いた。



全国高校総合文化祭特別賞の北澤君

吹奏楽部は、宇都宮市文化会館で開催された第12回東関東吹奏楽コンクールA部門(50人からなる大編成の部)において、堂々の金賞受賞を果たした。コンクールには、選りすぐりの24団体が出場。四つの課題曲の中から一つを選択して、自由曲と合わせ12分以内の演奏を披露し、ハーモニーを競い合った。同コンクールの金賞受賞は、これで3年連続8度目の栄誉。審査員からは「明るいサウンドの中にも深みを込めた演奏は、作新ならではの。今後の活躍が一層期待される」と高い評価を戴いた。演奏後、会場から贈られた割れんばかりの拍手に、部員たちには充実感が溢れていた。



東関東吹奏楽コンクール金賞受賞の吹奏楽部

JRC部では、篠田さんが日本赤十字社北関東四県支部青少年赤十字の代表メンバーとして、カンボジア王国への国際交流海外派遣に参加した。期間中は首都プノンペンを中心に、現地の赤十字施設をはじめ、王宮とその周辺、ツールスレン博物館、キリングフィールド、義肢製作所などの見学や、チャマーアムポツヴハイスクールでの交流会などに臨んだ。交流会では、日本から持参した着物を着てのソーラン節を披露。お礼としてカンボジアの民族舞踊や家庭料理が実演されるなど、相互の文化理解を深める貴重な会となった。7泊8日の派遣行事を振り返って篠田さんは、「メンバー全員が一致団結したとても有意義な派遣でした。私自身も大いに成長できたことを実感しています」と語ってくれた。



交流会を終えて(最前列左から4人目が篠田さん)

新三の「おいしい薄皮餃子」

<http://www.shinza.co.jp/>

代表取締役 鈴木 郁夫〔昭和24年卒〕

宇都宮市今泉3-12-30 ☎028-622-8337

株式会社

POO 企画装飾

代表取締役会長 関 正三〔昭和24年卒〕

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地38-32

TEL 028-662-6551代 FAX 028-663-3579

元気の里(特別養護老人ホームケア・ハウス)

理事長 角田 和之

施設長 角田 充由〔平成5年卒〕

宇都宮市幕田町1456-1 ☎028-655-2611

県内屈指の「電子申告推進事務所」

税理士法人 尾花会計パートナーズ

代表社員・税理士 尾花 一浩〔平成元年卒〕

社員・税理士 尾花 兼司〔平成2年卒〕

〒322-0029 鹿沼市西茂呂3-19-2

TEL 0289-62-8345 FAX 0289-62-8346 URL <http://j-obana.tkcfnf.com/>

軟式野球部が選手権・国体で2冠達成

自転車競技・柔道・山岳・バドミントン・パワーリフティングも全国V

運動部

軟式野球部が、第51回全国高等学校軟式野球選手権大会および第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)において共に優勝を果たし、堂々の全国2冠を達成した。



選手権・国体で2冠を達成した軟式野球部

選手権では、1・2回戦を4-0、5-0と快勝したのち、高梁城南高梁高(東中国地区代表・岡山県)戦を1-0で勝利。さらに決勝の中京高(東海地区代表・岐阜県)戦も息詰まる投手戦の末、1-0の粘り勝ちをおさめ、11年ぶり6度目の優勝を果たした(6度の優勝は京都府の平安高と並んで史上最多タイ)。なお、この大会でエースの種市学は、2回戦で史上15人目となる無安打無得点試合を達成すると共に、4試合すべてを無失点で投げきり、史上3人目の全試合完投投手となった。続く国体でも、6-1、3-0、2-0と危なげなく勝ち進んだ作新は、決勝で広陵高(広島県)と対戦。9回裏1死3塁から値千金の決勝点を挙げて1-0の劇的なサヨナラ勝ちをおさめ、2年連続4度目となる国体優勝をつかみ取った。

自転車競技部は、2006年全国高等学校総合体育大会(インターハイ)のチームスプリント(磯田旭・雨谷一樹・

長島大介)決勝で、仙台商高(宮城県)を相手に序盤から積極的なレースを展開。作新勢としては、



この競技初のチームスプリント優勝の磯田・雨谷・長島選手頂点に輝いた。また、学校対抗においても他校を寄せ付けぬ強さを発揮し、17年ぶり4度目の総合優勝を果たした。

柔道部では、インターハイの78kg級に出場した生田茜が高校生最高の舞台で大輪の花を咲かせた。全日本強化指定選手でもある川島巴瑠菜選手(北海道・旭川大高)との対戦となった決勝は、出足払いで有効を奪うと、そのまま最後まで攻め続けて栄冠を手にした。

山岳部では、国体に栃木県選抜として臨んだ芝田将基(ほか宇北高生徒1人)が、少年クライミングで他を圧倒する技術力の差を見せつけ、頂点に登りつめた。

バドミントン部女子では、全日本ジュニアバドミントン選手権のダブルスにおいて、石井那実・矢野智恵美ペアが1セットも失わずに全国を制覇。栃木県勢初となる偉業を達成した。

パワーリフティング部男子では、第24回全日本高等学校パワーリフティング選手権大会において、60kg級で長沼隆之が、82.5kg超級で小林佑輔が共に優勝を飾ると同時に、団体でも創部8年目にして初の全国優勝を飾った。

弓道部では、インターハイにおいて、男女共に満票による「技能優秀校」に選出された。この賞は、入場から試技、退場に至るまでの所作の美しさや、弓道に対する姿勢などを審査員が評価するもので、男女の同時受賞は大会史上初の快挙であった。

手塚・吉高神司法書士事務所

司法書士 吉高神渡〔昭和45年卒〕

宇都宮市小幡2-6-10 ☎028-627-0521

株式会社 落合東光園 (造園・土木)

代表取締役 落合 功〔昭和37年卒〕

上三川町川中子921 ☎0285-56-3751

(有)川口写真館

代表取締役 川口修一〔昭和44年卒〕

宇都宮市北一の沢21-19 ☎028-622-4641

仲田総業株式会社

<http://www.nakada.tv>

専務取締役 仲田陽介〔平成3年卒〕

宇都宮市築瀬町2520-4 ☎028-635-2151



作新学院退職教職員会の現況

会長 小川 純 孝 (高7回卒)

本会は作新学院に就職し、定年又は都合で退職した者で構成されています。入会は任意で、入会時に終身会費として2万円を納付します。現在の会員総数は118名です。この会が発足したのは平成9年9月29日で、学院の総務局内に事務局が置かれています。

本会設立の目的は、学院と退職教職員が一段と連携を深め、一校一家の更なる進展を図ることで、学院の発展に寄与しようとするものです。

事業としては、会員の慶弔や親睦を図るための日帰り研修旅行等です。今年度の研修旅行は仙台で、参加者は26名、参加者の最高齢者は82歳でした。

二人の天下人に仕えた奥州王・独眼竜政宗が築いた杜の都仙台。奥州に君臨する隻眼の若武者伊達政宗は、生き残りを賭けて秀吉と対決し、危機を乗り越え、仙台に本拠地を構えました。

政宗は5歳(他に8歳説)のころ天然痘で右目を失明したと伝えられます。ハンディを背負いながらも奥州の地を平定し、天下人を目指しつつも果たせなかった、

政宗の思いが伝わってくるようでした。

政宗は1636(寛永13)年、69年の波乱に富んだ生涯を閉じ、広瀬川が蛇行する経ヶ峰に葬られました。その霊屋「瑞鳳殿」を訪ねました。桃山様式の華麗な廟所で、昭和20年戦禍にあい、現在のものは昭和54年に再建されたものです。隣接する「資料館」には、焼失した瑞鳳殿跡から発掘された副葬品、遺骨調査資料などが展示されていて、皆興味深く見学していました。その後で政宗が築いた「仙台城跡」や「仙台市博物館」を見学し、仙台の歴史に思いを馳せました。「仙台文学館」では『たそがれ清兵衛』で知られる、作家「藤沢周平の特別展」が開催されていて、思わぬ勉強になりました。

仙台の歴史や文化に触れて心を養い、昼食は思い思いに名物の牛タンや寿司等を食し、楽しい一日となりました。来年度は、日本三大史跡の一つ、多賀城跡を訪ね、塩釜で新鮮な寿司を食べる予定です。



(株)安藤設計 (一級建築士事務所)

<http://www3.ocn.ne.jp/~andoarc/>

代表取締役 安藤 英夫 [昭和43年卒]

専務取締役 安藤 寛樹 [昭和45年卒]

宇都宮市山本1-3-14 ☎028-625-2875

花と園芸

(株)藤野グリーンセンター

代表取締役 藤野 善勝 [昭和35年卒]

宇都宮市さつき2-3-5 ☎028-653-8660

(株)うつのみやの足場や 三共リース工業 株式会社

取締役営業部長 坂本 昭一 [昭和43年卒]

宇都宮市石井町3210番 TEL 028-656-6801

FAX 028-656-6977

とらや (和菓子販売)

代表取締役 柿沼 宏 [昭和31年卒]

宇都宮市西1-3-6 ☎028-636-5585

活
動

文化厚生部『楽しい思い出』

文化厚生部 部会長 齋藤 貞夫 (商9回卒)

作新学院創立121周年記念文化祭が昨年9月30日(土)、10月1日(日)の両日、学院内にて盛大に開催されました。両日快晴に恵まれてバザーでは皆様からご寄付いただいた品々がお蔭様で完売、餃子コーナーでは焼くのが間にあわず行列ができるほどで販売担当の私達も楽しみながらの活動で得た売上は貴重な部会運営資金としてこれから大切に活用してまいります。開催に当りご協力いただいた部会・同窓会役員、事務所の皆様に心よりお礼申し上げます。



東京アクアラインバスツアーにて

平成17年11月19日には「東京アクアライン横断、南房総美食の旅」と銘打ち、普段あまり交流のない千葉房総方面への旅行を計画。予報では「曇り後雨」、アクアラインからの予定行程を変え木更津、鋸山から周る事に。午前10時に日本一を誇る大仏様の地に到着、むき出しの岩壁連なる峰はその名のとおりノコギリの形容を示し境内は千葉県屈指の名勝で海拔約330mの頂上からは東京湾をはじめ富士山の背景に三浦、伊豆半島そして伊豆の七島と関東一円が見渡せる大パノラマが一同を喜ばすはずでしたがそれは次回に。残念、雲たちこめる中の拝観となりましたが岩肌に彫られた高さ30m、そびえる百尺観音。延々と続く御影石の2639階段。約1300年前聖武天皇が開いた関東最古の勅願所の雰囲気は充分過ぎるほど堪能しましたが、こ

んなに急峻な階段や切通しとは知らず初めのうちは諸先輩の足元を気遣っていた私の足の方が目一杯、元気な先輩達に脱帽。TV放映された「かぢや旅館」のカ



ワハギ鍋、サザエの壺焼きで昼食の後はアクアラインへ。車中大淵会長、金田福会長の審査でカラオケ大会やクイズなどで和気藹々の楽しい旅行となりました。

皆様のご協力に感謝すると共に次回の為に反省会なども開きたいと思っています。

株式会社 寿屋 (設備器機販売施工)
ライフア宇都宮東 (INAXリフォーム)
代表取締役 齋藤 貞夫 [昭和41年卒]
宇都宮市瑞穂1-15-11 ☎028-656-6613

(有)坂本商店 (業務用青果・漬物製造卸)
代表取締役 坂本 昭 [昭和31年卒]
宇都宮市京町3-4 ☎028-633-4003
FAX 028-632-9148

昭和車輛(株) (重機の修理・販売)
代表取締役 坂本 功 樹 [昭和50年卒]
宇都宮市上大曾町348 ☎028-624-8553

御菓子司 株式会社 枅 金
<http://www.masukin.com/>
大 淵 皓 之 [昭和33年卒]
宇都宮市平曲師町3-9 ☎028-633-2769

役員改選で新執行部での組織強化!



歴史ある同窓会

幹事長 **安藤 寛樹**
(高20回卒)

創立122年の歴史をもち10万人を超える卒業生を抱える高校は、全国で作新学院だけである。県内はもとより全国で政治・経済・文化・スポーツなど各分野で活躍している先輩・後輩が大勢いることは、我が同窓会の大きな財産である。

しかしこの財産も大き過ぎて反対にまとまりに欠けるという欠点がある。現在の同窓会組織は4部体制で行なわれているが、この組織整備が新執行部の課題である。歴史ある作新学院の発展とともに、同窓会の発展のため組織整備を少しずつ行なっていこうと考えています。

多くの同窓生のご協力をお願いします。



同窓会の行事にも遊び心を

事務局長 **鈴木 勲**
(商6回卒)

現在、同窓会活動は従来の行事等を踏襲しており、参加する人が少なく十分な活動ができていないと思われます。以下の施策や行動を実施することにより、活動を活性化するとともに、本格化した少子化時代を乗り越えようとする母校の支援にもなると思います。主な施策として

1. 同窓会名簿の整備を急ぐ。(卒業時のクラス単位で作成し会員の把握を容易にする)
2. クラスごとの幹事や当時の担任を通じて、会員の消息を把握し、クラス会の開催を促して結束を固める。

同窓会は、同窓生と学校の行事を通じて学院の発展に協力することと、同窓生の深いつながりの機会を提供することを主体として活動しております。多くの卒業生のご参加を歓迎いたします。

—同窓会の未来—

総務企画部 部会長 **坂本 功樹** (高27回卒)

私が同窓会の活動に参加させて頂き、まず実感させられる事は、長い歴史と伝統を持つ作新学院ならではの連帯感である。それぞれの職場・立場で活躍されている方々が、年齢の隔たりをも感じさせず忌憚のない意見を述べあえる場は、他に類を見ないであろうと自負するところである。その根底にあるものこそ学院の教育理念である“一校一家”の精神ではないだろうか。

だが、その一方で全国一と言われる大規模組織ゆえの悩みも尽きない。特に急激に変化していく時代に向かい、若い方々の参加を率先して促していかなければ、今後の同窓会の発展は望めないだろう。その為にも若い方々が参加しやすい場を積極的に設け、世代を超えた信頼関係を深めていくことが必要である。

—団塊世代より未来を託すジュニア卒業生へ—

文化厚生部 部会長 **齋藤 貞夫** (高9回卒)

学院創立80周年記念の昭和41年、理事長は国務大臣・衆議院議長を歴任された中先生、学院長は国務大臣を歴任された法学博士の享二先生、副院長は小常先生、総務部長は参議院議員(後に栃木県知事)の船田讓先生という錚々たる先生方の祝福を受けた私達世代の卒業式。在学中は当時のライシャワー米国駐日大使の来校講演等もありましたが、讓先生の「これからはいろいろな面で日本と競い合うのは中国ですよ」と私達に力強く話されたお姿を今でも鮮明に思い出します。あれから40年時機到来。まさに今文化・経済・スポーツ等世界のあらゆる場面で両国が交流・競合を重ねる時代。団塊ジュニア世代と称される今の卒業生の皆様、今後10年いや30年と150周年を迎える年にも世界中の人々に明るい未来と夢を送り続ける日本の代表としてグローバルに活躍される事を期待しています。

—力強い組織へ—

組織財政部 部会長 **小牧 英夫** (高33回卒)

新しく選任されました小牧英夫です。121周年の輝かしい歴史を持つ作新学院高等学校で卒業生10万人を超える日本一の同窓会です。現在において卒業生が多く、十分な組織化に至っていないのも現状であります。より多くの情報の提供や声をかけあい学年別代表を選出していき、縦の組織の中で交流を深め、横の組織では各学年会、クラス会等を開催していただき、バランスのとれた組織強化並びに活性化を図り、一人一人が気軽に同窓会に来ていただける場を作っていく努力をしていきます。

一校一家の精神を忘れずに作新学院をともに盛り上げて行きましょう。

—学院発展のため広報活動に専念—

広報部 部会長 **川口 修一** (高21回卒)

この度広報部会長に選任されました。作新学院高等部卒業生のため、また学院発展のため広報部活動に専念いたします所存でございます。同窓生や先生方のご意見を伺いながら、広報誌を発行していきたいと思っております。

今回は、まず退職された先生の近況、学院の諸行事、進学・就職の状況などを掲載いたしました。広報部に対してご意見・ご要望がありましたら、これからの広報活動に取り入れていきたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

<http://www.sakushin-ogob.gr.jp>
作新学院高等学校同窓会公式サイト